2019年度(令和元年度)　草津市立新堂中学校通信　　Ｎｏ５（ ９月 ２日号）

しんどう中学校通信

～仲間とともに高めあい　豊かな学びと心を大切にする学校～

“春は あけぼの　秋は 新中祭”

昨年３月の学校通信では、かつて私自身が保護者の方から聞かせていただいた「春はあけぼの、中学は３年」というお話を紹介させていただきました。もちろんこれは清少納言『枕草子』冒頭の文ですが、新堂中生徒の素晴らしい取り組みに関していえば、私は「春は全校道徳劇、秋は新中祭」だと思っています。(もちろん、その意味するところは、春は道徳劇の取り組みが良い、秋は新中祭が素晴らしいということです。)

２学期始業式には、中体連の夏季大会(展覧会・コンクール)において、新中生はよく頑張り、その結果も素晴らしいものであったことと、いよいよ９月は新中祭（文化の部と体育の部）にむけて大切な仲間と一緒に頑張ってほしいことを伝えました。８月２８日(水)には、新中祭・体育の部に向けて、それぞれの縦割り団(赤・青・黄・緑)の結団式が行われました。各団の団長やリーダーが中心となって一生懸命にそして何より「よい表情」で応援パフォーマンスの取り組みを進めてくれていました。(ともに裏面参照)

ところで、仲間が大切であること、その大切な仲間と一緒に真剣になって活動してほしいという思いと願いは間違いのないものですが、現実的にはいつも「仲間や友だちと考えや思いが一致し、気持ちが一つになれるか」と言えば、そうとは限らないこともあります。これからの取り組みの中で「何でこんなことまで…。」「何で私が…。」とか「どうせうまくいくわけがない…。」というようなマイナスの気持ちが湧いてくることもあるかもしれません。みんなで一つのことに取り組もうとするときは、得てして意見が一致しないというようなことも出てくるものです。

しかし、そんな時こそ、仲間を信じて、自分自身を信じて、何より周りに支えられていることに感謝して「壁」を乗り越えていってほしいと思っています。「大切な仲間と　ともに学び　ともに考動」です。

まだ、しばらくは暑い日が続くと思いますが、新中生全員で「新中祭(文化の部・体育の部)」を盛り上げていきましょう。

８月２９日付で新中祭のご案内文書を配らせていただきましたが、保護者の皆さんや地域の方々には、子どもたちの頑張る様子、一生懸命でひたむきな姿と表情をぜひ見に来ていただければと思っています。

校長　　伊庭　靖二

中体連夏季大会の様子から

新堂中生の部活動への取り組みは非常に熱心なものであり、日頃の努力の甲斐もあってブロック予選を勝ち抜いて県大会出場を果たしてくれた部活が例年以上に多かったように思います。遠くの会場まで応援に駆けつけていただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。

新中祭『結団式』の様子から…8月28日(水)

新中祭・体育の部は、１年～３年という学年の枠を超えての“縦割り団”での取り組みを進めていきます。結団式はその「最初の出会い」の場でもありました。各団の団長やリーダーを中心にこれから約１ヶ月間の取り組みが始まりました。